

請 願 番 号	請願第3号
件 名	小中学校の給食費無償化を求める請願
受 理 年 月 日	令和4年6月7日
紹 介 議 員	井深正美、森下満寿美、堀田信夫、松原徳和、服部勝弘、 田中成佳、高橋和江、原 菜穂子
付 託 委 員 会	文教委員会
<p>(請 願 要 旨)</p> <p>学校給食は、健康で文化的な生活を送り、望ましい食生活の基礎、基本を養い、感謝の心や伝統的な食文化の理解を深める大切な機会である。</p> <p>また、2005年に制定された食育基本法では、「子どもたちが豊かな人間性をはぐくみ、生きる力を身に付けていくためには、何よりも『食』が重要である。」とし、また、食育を「生きる上での基本であって、知育、徳育及び体育の基礎となるべきもの」と位置づけており、教育の一環として食育は重要な役割を果たしている。</p> <p>加えて、子どもたちの給食への期待感や、みんなと一緒に食べる楽しさは、かけがえのないものであり、成長期にある子どもたちの健全な成長に大きな影響がある。</p> <p>しかし、昨今のコロナ禍で生活苦を抱えている人も多い上、物価の値上がりラッシュが続き、1人につき小学校で月4,500円、中学校で月5,380円の給食費は、保護者にとって大きな負担となっている。学校給食が唯一のまともな食事という子どもたちも見受けられる。</p> <p>憲法では、義務教育は無償とするとされており、全国でも無償化への取組が進んでいる。岐阜県内では岐南町、揖斐川町、垂井町で既に実施されている。また、他の10市町村では、半額補助などを実施している。</p> <p>そのような事情を踏まえ、岐阜市独自の先行した対応を求め、下記事項について請願する。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <p>1 全ての子どもが給食費の心配なく平等で良質な給食を食べられるように、早急に全小中学校の給食費無償化を行うこと。</p>	
審 議 結 果	令和 4年 6月23日(木) 不採択